

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年7月30日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

ギリアド・サイエンシズ、 2020年第2四半期と上半期決算を発表

2020年第2四半期と上半期

- 第2四半期の製品売上は51億ドル—
- 上半期の製品売上は105億ドル—
- GAAPベースの1株当たり損失は(2.66)ドル—
- 非GAAPベースの希薄化後1株あたり利益は1.11ドル—

2020年通期のガイダンスの修正

- 製品売上を230億ドルから250億ドルへ上方修正—
- 非GAAPベースの希薄化後1株あたり利益を6.25ドルから7.65ドルへ上方修正—

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下ギリアド）は、7月30日、2020年6月30日を決算日とする第2四半期の業績を発表しました。

ギリアドの会長兼最高経営責任者ダニエル・オデイ（Daniel O’Day）は、「ギリアドの2020年上半期の業績は、COVID-19パンデミックの影響下にあっても私たちの中核をなすHIV事業の力強さと持続力を示すものとなりました。パンデミックの影響からの回復を示す徴候は既にみられはじめており、HIV領域のリーダー企業であり続けることに自信を持っております。またパイプラインに大きな進捗がありました。レムデシビルの開発というきわめて重要な活動を進めたほか、がん免疫療法の領域におけるギリアドのプレゼンスを引き続き強化しました。本年度はがん免疫療法の一領域で6件の契約を締結したほか、このほどFDAよりマントル細胞リンパ腫の治療法としてTecartus™の承認を取得しました。」と述べています。

業績

- 2020年第4四半期の総収入は、2019年第4四半期の57億ドルに対し、51億ドルでした。2020年上半期の総収入は、2019年上半期の110億ドルに対し、107億ドルでした。
- 2020年第4四半期のGAAPベースの純損失は33億ドルで希薄化後1株当たり損失は2.66ドル、2019年上半期の純利益は19億ドル、希薄化後1株当たり利益は1.47ドルでした。
- 2020年上半期のGAAPベースの純損失には、ギリアドのフォーティーン・セブン社（以下、フォーティーン・セブン）の買収に関連する45億ドルの仕掛研究開発費が含まれます。

- 非GAAPベースの純利益は、2019年第2四半期の22億ドルに対し2020年第2四半期は14億ドル、希薄化後1株当たり利益は2019年第2四半期の1.72ドルに対し2020年第2四半期は1.11ドルでした。
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界に影響を及ぼすなか、ギリアドの中核事業は堅調な業績を収めました。

(1株あたり利益を除き、単位100万)	3か月決算日 6月30日		6か月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
製品売上	\$5,067	\$5,607	\$10,534	\$10,807
ロイヤルティ、契約収などの収入	76	78	157	159
総収入	\$5,143	\$5,685	\$10,691	\$10,966
ギリアドに帰属する純利益（損失）	\$(3,339)	\$1,880	\$(1,788)	\$3,855
非GAAPベースのギリアドに帰属する純利益 ⁽¹⁾	\$1,400	\$2,196	\$3,539	\$4,337
希薄化後1株当たり利益(損失)	\$(2.66)	\$1.47	\$(1.42)	\$3.01
非GAAPベースの希薄化後1株あたり利益 ⁽¹⁾	\$1.11	\$1.72	\$2.80	\$3.39

⁽¹⁾ 2020年以降、ギリアドの決算報告では株式報酬費用を非GAAPベースの財務情報から除外せず、含めて計上しています。本変更に伴い、前期の非GAAPベースの財務情報に株式報酬費用が含まれるよう再算定しています。P.12~14の表でGAAPと非GAAPベースの財務情報の調整を行っています。

製品売上合計

製品売上合計は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界に影響を及ぼすなか、堅調な業績を収めました。製品売上合計は、2019年第2四半期の56億ドル、2019年上半期は108億ドルに対し、2020年第2四半期は51億ドルと前年同期比で10%減、2020年上半期は105億ドルと前年同期比で3%減でした。

- 減益の主な要因は下記の通りです。
 - COVID-19により医療機関の受診と検査が減少し、慢性C型肝炎ウイルス（HCV）感染症治療薬の売上が低下しました。
 - Letairis[®]（アンブリセンタン 5 mg および 10 mg）、Ranexa[®]（ranolazine 500 mg および 1000 mg）の売上は、2019年上半期の後発品参入後に低下しました。
 - 2019年上半期には欧州のHCVとHIVの売上に関連する法定払い戻しについて約1億6,000万ドルの調整がありました。2020年には同様の調整は生じませんでした。
- 減収は、下記により一部相殺されています。
 - 中核HIV事業の需要増大と、ビクタルビ[®]（ビクテグラビル50 mg/エムトリシタビン200 mg/テノホビル アラフェナミド25 mg）および曝露前予防用（PrEP）のデシコビ[®]（エムトリシタビン200 mg/テノホビル アラフェナミド 25 mg）の新規患者の増加継続。

抗HIV薬の売上は、2019年第2四半期の40億ドルに対し、2020年第2四半期は40億ドルと前年同期比で1%低下、2019年上半期の77億ドルに対し、2020年上半期は81億ドルと前年同期比で6%上昇しました。COVID-19の世界的影響の下での2020年上半期の増加は、主に米国におけるBiktarvyのシェア上昇ならびにギリアドの治療薬のシェア上昇で示される抗HIV薬事業の底堅さが主な要因です。

第2四半期

- 2020年第2四半期の減少は、下記の要因によります。
 - ツルバダ®（エムトリシタビン（FTC）/テノホビルジソプロキシシルフマル酸塩（TDF））ベース製品の売上減少
 - COVID-19による受診者の減少と、社会動態への影響により、服用開始例が減少し、服用中止例が現れたなどのPrEP需要の低下
 - 米国における支払者構成の不利な変化
 - 2020年第1四半期の業績報告に示した、COVID-19による第1四半期の収益傾向からの反転
 - 2019年第2四半期の欧州における欧州の売上に関連する法定払い戻しについてのプラスの調整
- これらの減少は、ビクタルビとDescovy for PrEP®の新規患者の増加継続により一部相殺されています。

上半期

抗HIV薬の2020年上半期の売上は、前年同期比6%増で、ビクタルビ等の需要増が牽引しました。

- 売上増は、下記で一部相殺されています。
 - ツルバダ（FTC/TDF）ベースの製品の売上減
 - 平均正味販売価格の低下
 - 2019年第2四半期の売上に関連する法定払い戻しについてのプラスの調整
- COVID-19は主にPrEPに影響をもたらしました。服用開始例の減少や服用中止例が現れたことが主因で、HIV治療法の切り替え例の減少も影響をもたらしました。

慢性 C 型肝炎ウイルス（HCV）感染症治療薬の売上は、2019年第2四半期の8億4,200万ドルに対し、2020年第2四半期は4億4,800万ドルで前年同期比47%減、2019年上半期の16億ドルに対し、2020年上半期は12億ドルで前年同期比28%減でした。

- この減少は主に次の要因によります。
 - COVID-19により欧米において来院者と検査数が減少したことにより、慢性C型肝炎（HCV）の治療を開始する患者が減少したことによる売上減
 - 平均正味販売価格の低下
 - 欧州における2019年第2四半期の売上に関連する法定払い戻しについてのプラスの調整

Yescarta®（axicabtagene ciloleucel）の売上は、2019年第2四半期の1億2,000万ドルに対し2020年第2四半期は1億5,600万ドル、2019年上四半期の2億1,600万ドルに対し2020年上半期は2億9,600万ドルでした。この増加は主に欧州での販売拡大の継続によるものです。

地域別売上

米国における製品売上は、2020年第2四半期は38億ドルで前年同期比7%減、2020年上半期は78億ドルで前年同期比1%減でした。

- この減少は主に次の要因によります。
 - 2019年上半期に Letairis と Ranexa の後発品が上市されたことによる売上減

- COVID-19による来院者と検査数が減少したことにより、慢性C型肝炎（HCV）の治療を開始する患者さんが減少したことによる売上減
- 2020年第1四半期の業績報告に示した、COVID-19による第1四半期の収益傾向からの反転
- この減少は、ビクトルビの新規患者の増加継続と、Descovy for PrEPの使用増などによる抗HIV薬の需要増により一部相殺されています。

欧州における製品売上は、2020年第2四半期は7億2,400万億ドルで前年同期比30%減、2020年上半期は17億ドルで前年同期比14%減でした。

- この減少は主に、COVID-19により治療開始例が減少したことによるHCV感染症治療薬の売上減によります。また、2019年第2四半期の売上に関連する法定払い戻しについてのプラスの調整による影響も受けています。

その他地域の製品売上は、2020年第2四半期は5億7,300万億ドルで前年同期比12%増、2020年上半期は11億ドルで前年同期比9%増でした。

- この増加は主に、エプクルーサ®（ソホスブビル400 mg/ベルパタスビル100 mg）、ビクトルビおよびベムリディ®（テノホビルアラフェナミド25 mg）の売上増によるもので、平均正味販売価格の低下により一部相殺されています。

営業経費

(単位100万)	3カ月決算日 6月30日		6カ月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
研究開発費 ⁽¹⁾	\$1,299	\$995	\$2,303	\$1,926
非GAAPベースの研究開発費	\$1,186	\$996	\$2,190	\$1,928
取得した仕掛研究開発費 ⁽¹⁾	\$4,524	\$165	\$4,621	\$291
非GAAPベースの取得した仕掛研究開発費 ⁽¹⁾	\$—	\$—	\$—	\$—
販売費/一般管理費	\$1,239	\$1,095	\$2,315	\$2,125
非GAAPベースの販売費/一般管理費	\$1,164	\$1,096	\$2,240	\$2,126

(1) 2020年第2四半期以降、取得した仕掛研究開発費は、ギリアドの要約連結損益計算書では研究開発費とは別項目として報告し、追加情報を提供しています。本変更に伴い、前期について再算定しています。取得した仕掛研究開発費は、企業結合以外の取引により直接取得した仕掛研究開発の減損および外部で進んでいた仕掛かり研究開発プロジェクトの初期費用を反映するもので、将来他の目的に使用できない資産であり、各種の協働に関連する前金支払額や仕掛研究開発プロジェクトに関する権利に係る初期費用を含みます。取得した仕掛研究開発費は、ギリアドの非GAAPベースの財務情報から削除しています。

2019年第2四半期との比較

- 研究開発費および非GAAPベースの研究開発費の増加は主に、レムデシビルに関連する臨床試験と生産規模の拡大によります。なお、COVID-19パンデミックの影響でその他の臨床試験が中断もしくは延期され、臨床試験の経費が減少したことにより研究開発費の増加が一部相殺されています。
- 取得した仕掛研究開発費の増加は主に、フォーティーン・セブンの買収に関連して生じた45億ドルによります。
- 2019年第2四半期の販売費/一般管理費および非GAAPベースの販売費/一般管理費の増加は主に、既に発表している米国司法省の調査に関連する9,700万ドルの費用発生と、レムデシビルの無償提供によるもので、COVID-19による営業経

費の減少で一部相殺されています。また、2020年上半期の販売費/一般管理費は、フォーティ・セブンの買収による費用増を反映しています。

その他収入（支出）（純額）

(単位100万)	3カ月決算日 6月30日		6カ月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
その他収入（支出）（純額）	\$250	\$228	\$92	\$595
非GAAPベースのその他の収入（支出）（純額）	\$49	\$171	\$174	\$341

2019年第2四半期との比較

- その他の収入（支出）（純額）は2億2,000万ドル増加しました。これは持分証券投資における公正価値の好ましい変動によるもので、利子所得の減少により一部相殺されています。
- 非GAAPベースのその他の収入（支出）（純額）は、1億2,200万ドル減少しました。これは主に利子所得の減少によります。

実効税率

2020年第2四半期のGAAPベースの実効税率と非GAAPベースの実効税率は、それぞれ（12.5）%と22.8%で、2019年第2四半期はそれぞれ22.2%および21.5%でした。2020年第2四半期のGAAPベースの実効税率がマイナスとなったのは、主に、ギリアドのフォーティ・セブンの買収に関連する仕掛研究開発費に関連する非控除費用45億ドルによります。非GAAPベースの実効税率の前年比増は主に、収益の地域構成の変化によります。

現金、現金等価物および有価証券

2020年6月30日時点の現金、現金等価物および市場性のある有価証券は212億ドル、2019年12月31日時点では258億ドルでした。2020年第2四半期の営業キャッシュフローは26億ドル、主にフォーティ・セブンの買収に関連して約48億ドルを支払いました。配当金8億5,600万ドルを支払い、5400万ドルを自己株式取得に充当しました。

2020年通期のガイダンスの修正

ギリアドは、2020年2月4日に提示した2020年通期のガイダンスを修正しました。

(パーセンテージ及び1株あたりの金額を除き、単位100万)	2020年2月4日に発表	2020年7月30日の修正予想
製品売上	\$21,800 - \$22,200	\$23,000 - \$25,000
非GAAPベース		
製品の粗利益	86% - 87%	86% - 87%
研究開発費	1桁台半ばパーセントの増加	10パーセント台半ばの増加
販売費/一般管理費	1桁台半ばパーセントの増加	1桁台後半パーセントの増加
営業利益	\$10,100 - \$10,800	\$10,700 - \$13,000
実効税率	~ 21%	~ 21%
希釈化後EPS	\$6.05 - \$6.45	\$6.25 - \$7.65
GAAPベースの希釈化後EPS	\$5.15 - \$5.55	\$0.83 - \$2.23

COVID-19に関する見通し

世界各地におけるCOVID-19の発生・拡大状況や治療に向けた活動の動きについては予測不能であるため、COVID-19がギリアドの事業にもたらす影響については、依然として不確実性が高い状況です。しかしながら、基本的な需要促進要因、製品差別化のレベルや、ギリアドの中核事業である抗HIV薬の患者さんへの便益性などから、ギリアドは確固たる地位を築いています。HIV PrEPに関しては徐々に回復すると期待しています。HCV治療薬については、2020年第3四半期以降に再び増加に転じるものと期待しています。

事業ハイライト

2020年第2四半期には、ギリアドは、企業戦略として掲げる長期目標である(i) 2030年までに10品目以上の革新的医薬品の上市、(ii)求職者に職場として選ばれ、企業に提供先として選ばれるバイオテクノロジー企業になる、(iii)株主に責任ある持続的な形で価値提供する、の3点について大きな進展を果たしました。この進展は、COVID-19パンデミックによる様々な課題に直面し、組織全体でレムデシビルの開発を加速し、臨床試験の結果に基づき、規制当局の承認を得つつ速やかにより幅広い患者さんにお届けする活動に注力しつつ達成しました。

事業展開

ギリアドは、2020年第2四半期に、がん免疫療法の領域のパイプラインの強化を目標に、1件の買収を完了し、数件の戦略的取引を開始しました。

- 2020年4月、ギリアドはフォーティーン・セブンの買収を完了しました。同社の買収により、ギリアドは各種血液がんの治療薬として臨床開発中のモノクローナル抗体製剤magrolimabを取得しました。
- 2020年5月、ギリアドはArcus Biosciences社（以下「Arcus」）と10年間の提携契約を締結しました。2020年7月に締結したこの契約では、ギリアドは契約前渡金として1億7,500万ドルを支払い、Arcusの普通株600万株を2億ドルで購入しました。Arcusは、腫瘍の免疫回避機構に関与する重要な機序を標的とする新規開発品をポートフォリオに持ち、腫瘍の増殖と転移に重要な細胞内経路を標的とする新薬候補を開発中の企業です。Arcusは、PD-(L)1やTIGITなどの免疫チェックポイント受容体を標的とする抗体医薬品の開発も進めています。ギリアドは、契約締結後の10年間は、Arcusの研究ポートフォリオにあるか将来ポートフォリオに入る製品候補の全てに対してオプトイン権を有します。ギリアドがプログラムに対してオプションを行使し、Arcusが契約に基づくオプアウトを行わなかった場合は、両社は対象プログラムの共同開発を行い、全世界での開発費用を折半するほか、米国においては共同で実用化し利益を折半します。
- ギリアドと、ギリアドの子会社であるカイトファーマ（以下「カイト」）は、がん免疫治療パイプラインのさらなる前進を図るため、2件の契約を新たに締結しました。1件は、oNKO-innate社との3年間にわたるがん免疫療法の共同研究契約で、ナチュラルキラー（NK）細胞に焦点をあてた次世代医薬品と遺伝子改変細胞療法の新薬と開発に向けた研究を行います。もう1件はTeneobio社（以下「Teneobio」）とのライセンスおよび連携に関する契約で、TeneobioのUniAb抗体を用いた次世代二重標的キメラ抗原受容体（CAR）T細胞療法による多発性骨髄腫の治療法の開発を行います。

- 2020年6月、ギリアドは、がん免疫療法における生物学的研究を進める非上々企業ピオニール・イミュノセラピューティクス社（以下「ピオニール」）との交渉に入りました。2020年6月13日、ギリアドは取引を終了しピオニールの株式の49.9%を取得し、ピオニールの残る株式を取得する独占的オプションを獲得しました。本契約に基づき、ギリアドはピオニールの株主に対して2億7,500万ドルの現金を支払う予定で、慣習的な成立条件を満たした後に成立する見込みです。契約締結の1年後から、ギリアドはピオニールの残る株式を買い取るオプション権の行使が可能となり、その際はオプション権行使料として3億1,500万ドルを支払います。さらに、達成したマイルストーンに対する目標達成報奨金として最高額で12億ドルを支払います。いずれも今後の協議により変更が生じる可能性があります。ピオニールのMyeloid Tuning™技術は、現行の免疫チェックポイント阻害剤で十分な効果が得られない患者さんの治療法となる可能性があります。
- 2020年第2四半期中の2020年7月には、ギリアドは、がん免疫療法を開発する非上場企業であるティゾナ・セラピューティクス社（以下「ティゾナ」）との交渉に入りました。この契約では、ギリアドはティゾナの株主に対して3億ドルの現金を支払う予定で、慣習的な成立条件を満たした後に成立する見込みです。またギリアドは、ティゾナの株式の49.9%を取得し、残る株式を取得する独占的オプションを取得する予定です。契約締結の1年後から、ギリアドはティゾナの残る株式を買い取るオプション権の行使が可能となり、その際は最高で13億ドルを支払います。これにはオプション行使料と達成したマイルストーンに対する目標達成報奨金が含まれます。いずれも今後の協議により変更が生じる可能性があります。この契約は、規制当局の承認と慣習的な成立条件を満たした後、2020年第3四半期に成立する見込みです。

レムデシビルとギリアドのCOVID-19パンデミックへの対応

レムデシビルのアクセス拡大に向けた活動

- COVID-19治療薬としてのレムデシビルの承認や許可により、レムデシビルのアクセス拡大に向けた活動が進んでいます。2020年5月、米国食品医薬品局（FDA）が COVID-19の重症入院患者の治療薬として開発中の抗ウイルス薬ベクルリー®（レムデシビル）について、緊急時使用許可（EUA）を発出しました。緊急時使用許可は一時的な措置であり、正式な新薬承認申請の提出、審査と承認のプロセスに代わるものではありません。ベクルリー（レムデシビル）はいずれの用途についてもFDAの承認を得ていません。FDAによる緊急時使用許可の発出後、日本の厚生労働省がベクルリー（レムデシビル）を重症COVID-19患者の治療薬として特例承認しました。2020年7月には、欧州委員会がベクルリー（レムデシビル）をCOVID-19治療薬として条件付きで承認し、EUで承認を得た初のCOVID-19治療薬となりました。
- ギリアドは、既に発表した150万回投与分のレムデシビルの無償提供を2020年6月末までに完了しました。ギリアドは無償提供の終了後、ベクルリー（レムデシビル）の価格を開発途上国の政府には1バイアルあたり390ドル、米国の民間保険会社やその他団体には1バイアルあたり520ドルに設定しました。広範囲かつ公平なアクセスを促進するため、本剤の価格は、医療システムに本剤がもたらすとギリアドが考える価値を大きく下回る値で設定しています。開発途上国

では、レムデシビルを低価格で提供できるよう、ギリアドはジェネリック医薬品企業と契約を締結しました。

- 2020年6月、ギリアドは米国保健福祉省（HHS）と契約を締結し、9月末までに50万人分以上のベクルリー（レムデシビル）を米国に提供し、州政府が定める本数をHHSが割り当てる形で米国内の医療施設に販売することとなりました。
- 2020年7月、ギリアドは欧州委員会と契約を締結し、今後数カ月間は欧州委員会が緊急支援基金（ESI）の下でベクルリー（レムデシビル）を一括購入し、EU加盟国と英国に割り当てることとなりました。
- レムデシビルの製造・生産と供給の拡大を図るため、ギリアドはプロセスを改善し、減量から最終製品までの製造期間を大幅に短縮しました。また、北米、欧州とアジアにおける多数のパートナーとともに、製造能力を大きく上げてきました。ギリアドは現在、2020年末までに200万人分を超えるレムデシビルを製造し、2021年にはさらに数百万人分を製造する見込みです。

レムデシビルの臨床開発の推進

ギリアドは、COVID-19 治療薬候補としてのレムデシビルの開発を加速しました。2020年第2四半期には、数件の重要な臨床試験のデータが発表され、本剤の理解がさらに進み、COVID-19の治療における本剤の重要な役割が明らかにされました。

- 2020年6月、ギリアドは第III相SIMPLE試験の結果を発表しました。この試験は中等症のCOVID-19により肺炎がみられる患者を対象にレムデシビルの5日投与と10日投与を比較する試験で、本剤の5日間投与を受けた患者の臨床症状は、標準療法のみを受けた患者より有意に改善することが明らかにされました。2020年4月に発表された1件目の第III相SIMPLE試験では重症患者では5日間投与と10日間投与によるレムデシビルの有効性は同程度と報告されており、中等症における検討で結果が裏づけられました。
- 2020年4月、米国国立アレルギー感染症研究所（NIAID）は、同研究所が主導したレムデシビルのグローバルプラセボ対照試験の予備的な結果を発表し、主要評価項目を達成し、レムデシビルはプラセボと比べCOVID-19の入院患者の回復までの期間が短縮するとの結果を公表しました。また、The New England Journal of Medicine誌は、人道的使用の枠組みでレムデシビルの投与を受けた53例のデータを掲載しました。これらの患者では臨床状態の改善がみられ、新たな安全性シグナルは認められませんでした。
- 臨床開発の次段階として、より早期の段階で他剤と併用する場合や、他の患者グループにおけるレムデシビルの効果を検討する試験を行う予定です。ギリアドは、現在開発中のレムデシビル吸入液の健常被験者における安全性、忍容性と薬物動態を検討する第Ia相臨床試験の開始を発表しました。
- また、ギリアドは、輸注センターなどの外来施設や介護施設で点滴製剤を投与する臨床試験、レムデシビルをJAK阻害剤であるバリシチニブ、IL-6受容体拮抗薬であるトシリズマブと併用投与する臨床試験、および小児、妊婦や末期腎疾患などのCOVID-19の影響を受けやすい患者集団を対象とした臨床試験の計画を発表しました。

その他のパイプラインの進捗

ギリアドは 2020 年第 1 四半期中、治療薬開発プログラムの進展に引き続き取り組

みました。

- オンコロジー領域では、2020年米国主要学会年次総会（ASCO 2020）においてカイトの細胞療法ポートフォリオや、フォーティーン・セブンの買収により取得した現在開発中の抗体製剤magrolimabに関する新たな知見を発表しました。発表では、再発または難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫の患者を対象とするYescartaの臨床試験データや、骨髄異形成症候群の患者や急性骨髄性白血病の患者を対象に magrolimabをazacitidineとの併用で用いる試験の最新データなどが報告されました。
- HIVについては、7月に第23回国際AIDS会議で新たなデータを発表しました。発表では、開発中の新規HIV-1カプシド阻害剤lenacapavirの長期作用型皮下注射剤（他の抗ウイルス薬と併用する長時間作用型のHIV治療レジメンの1つとして開発中）の新たな臨床試験データ、65歳以上のHIV患者におけるビクタルビの安全性と有効性の追加データ、Descovy for PrEPまたはTruvada for PrEPの使用者では、性的リスク行動の増加がみられないことを示したDISCOVER試験のデータを報告したほか、現在開発中のToll様受容体7（TL7R）作動薬の用量依存型の免疫応答に関するデータを示しギリアドの治療を目指す治療戦略に関する最新情報も示しました。
- 炎症疾患については、2020年EULAR欧州リウマチ学会で新たなデータを発表しました。発表では、ガラパゴス NV（以下「ガラパゴス」）と共同で乾癬性関節炎の成人を対象に実施した現在開発中の経口投与できる選択的JAK阻害剤filgotinibの2件の臨床試験の新たな解析結果を示しました。ギリアドとガラパゴスは、中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎におけるfilgotinibの第IIb/III相臨床試験の肯定的な主要結果も発表しました。SELECTION試験では、filgotinibはプラセボに比べ、寛解導入・維持効果が高く、有害事象の発生率が低く、他疾患における結果と同様でした。2020年7月、ギリアドとガラパゴスは、1種類以上の疾患修飾性抗リウマチ薬（DMARD）で効果が得られないか不耐の中等症から重症の関節リウマチの成人患者に対して1日1回経口投与する選択的JAK阻害剤として開発中の Jyseleca[®]（filgotinib 200 mg錠および100 mg錠）について、欧州医薬品庁ヒト用医薬品委員会（CHMP）より肯定的な見解を得ました。CHMPの肯定的な見解は、欧州委員会に対し、欧州での製造承認を科学的見地から推奨するものです。

Tecartus[™] (brexucabtagene autoleucel)のFDA承認

FDAより、再発性または難治性のマントル細胞リンパ腫の成人患者に対する初のCAR-T細胞療法としてTecartusの迅速承認を取得しました。この1回の投与で治療を行うCAR-T療法剤は、FDAよりBreakthrough Therapy（画期的治療薬）の指定を受けており、ZUMA-2試験の結果に基づく優先審査が行われました。ZUMA-2試験は単群非盲検試験で、Tecartusの単回輸注で87%の患者に効果がみられ、62%の患者で完全寛解（CR）が得られました。安全性評価対象例のうち、18%にグレード3以上のサイトカイン放出症候群（CRS）がみられ、37%にグレード3以上の神経毒性がみられました。

欧州における細胞療法剤の製造施設

2020年6月、カイトは欧州医薬品庁より、Yescartaの製造販売承認についてエンド

ツーエンドの製造に関する承認内容の一部変更の承認を取得しました。この承認により、欧州においてカイトの細胞療法剤の専用施設として設計した製造施設は完全に稼働可能となりました。

役員人事

2020年6月、DaVita社の最高経営責任者（CEO）であるジャビア・ロドリゲス（Javier Rodriguez）がギリアドの取締役役に就任しました。ロドリゲス氏は、ヘルスケア業界における深い専門性をもつアクティブなCEOとしての知見を発揮することが期待されます。

非GAAPベースの財務情報

本文書中に記載された情報は、非GAAP との指定がない限り、米国の一般会計原則（GAAP）に従って作成されたものです。経営陣は、運営、予算策定、財務計画を目的として社内で非GAAPベースの情報を使用しており、ギリアドのGAAPベースの財務諸表とあわせて使用することで、この非GAAPベースの情報が投資家にとって有用なものになると確信しています。非GAAPベースの情報は包括的な会計規則に基づいたものではなく、GAAP に基づいて報告されたギリアドの経営実績を理解する上での補助的資料としてのみご使用ください。非GAAPベースの財務情報には、買収に関連して取得した無形資産の原価償却や減損、実施中の研究開発、提携およびライセンス契約の前払金、その他特殊またはギリアドの基盤事業とみなされない項目、持分証券の公正価格調整、税関連法およびガイドラインの変更に伴う個別の課税額や優遇措置は含まれていません。ギリアドは一貫して取得した無形資産の減価償却費を非GAAPベースの財務情報から除外していますが、ギリアドの経営陣は、そのような無形資産は買収の一部として計上し、収益創出に継続的に寄与するものと投資家の皆様にご理解をいただくことが重要と考えております。当社の非GAAP指標は、同じ業界の他社のものと定義や算出方法が異なる可能性があります。

非GAAPベースの財務情報およびその比較対象となるGAAPベースの財務情報の調整は、P.13～16の表で行っています。

カンファレンスコール

本日（2020年7月30日）午後4:30（米国東部時間）、2020年第2四半期業績について話し合い、事業の最新情報を提供するため、ギリアドの経営陣はカンファレンスコールを開催し、ウェブキャストを同時配信します。ウェブキャストのライブ配信を聴取するには、ギリアドの「Investors」のページ（<http://investors.gilead.com/>）からアクセスしてください。ウェブキャストの聴取にソフトウェアのダウンロードが必要になる場合がありますので、会議開始15分前までにアクセスしてください。あるいは1-877-359-9508（米国の場合）または1-224-357-2393（米国以外の場合）に電話し、カンファレンスID 9561515をダイヤルして会議にアクセスしてください。会議終了の約2時間後から2020年8月2日午後8:00（米国東部時間）まで、電話による再生が可能です。電話で再生するには、1-855-859-2056（米国の場合）または1-404-537-3406（米国以外の場合）に電話し、カンファレンスID 9561515をダイヤルして下さい。ウェブキャストはギリアドのウェブサイトwww.gilead.comにアーカイブとして1年間保存されます。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオファーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす難病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35か国以上で事業を行っています。

将来予想に関する記述

このプレスリリースに含まれる実績ベースではない記述は、1995年の私募証券訴訟改革法の意義の範囲内で作成された将来予想に関する記述です。ギリアドでは、将来予想に関する記述は一定のリスクや不確実性の影響を受け、実際の結果が大きく異なる場合があることについて、読者に注意を促しています。そうしたリスクや不確実性としては以下が挙げられます。ギリアドの事業、財務状況、業績へのCOVID-19パンデミックによる影響に関連したリスクや不確実性、レムデシビルがFDAやその他の規制当局から製造販売承認を取得できない可能性や、レムデシビルの製品化に失敗し、レムデシビルの開発と製造にかかる現時点までの費用と将来的な費用を回収できない可能性など、COVID-19治療薬としてのレムデシビルの開発および提供に関連したリスクや不確実性、現時点の想定スケジュールでレムデシビルの生産拡大が行えず、将来的な需要を満たせないリスク、COVID-19による業績への悪影響やレムデシビルの開発および製品化にかかる費用増加の可能性のなかで2020年度通期予算を達成するギリアドの能力、企業戦略として掲げる長期目標を進展させるギリアドの能力、抗ウイルス剤および他の治療薬プログラムにおいて収益の増加または維持を得るギリアドの能力、買収、提携、ライセンス契約（フォーティーン・セブン、Arcus、oNKO-innate、Teneobio、ピオニール、およびティゾナに関連するものを含む）から得られる可能性のある利益を実現するギリアドの能力、ティゾナとの取引が適宜完了するか完了する能力の有無、現在実施中かまたは今後追加するCOVID-19治療薬としてのレムデシビルの臨床試験を含む臨床試験を予定通りに開始、進行、完了させるギリアドの能力、現在実施中かまたは今後追加するベクルリー（レムデシビル）、Tecartus、Yescarta、ビクトルビ、Descovy for PrEP、Truvada for PrEPの臨床試験で好ましくない結果が得られる可能性、安全性と有効性に関する臨床試験のデータが、レムデシビル、magrolimab、lenacapavir、vesatolimodやfilgotinibなどのギリアドの製品候補、あるいはギリアドの戦略的パートナーの製品候補のその後の開発に値しない可能性、新薬候補について現在予定されているタイムラインで承認申請を行うギリアドの能力、関節リウマチ治療薬としてのfilgotinibのFDAや欧州委員会による承認や、再発・難治性マンツル細胞リンパ腫治療薬としてのKTE-X19の欧州委員会による承認など、新規または既存の治療薬にかかる製造販売承認を適時に取得するギリアドの能力の有無、製品の商業化を行うギリアドの能力、ギリアド製品の製造およびサプライチェーンにおいて問題が発生するリスク、民間及び公的保険支払者が、新製品の保険による補償や支払いの実施あるいは継続を躊躇するリスク、支払者構成が変化し割引率の高いセグメントの割合が想定以上となる可能性、ギリアド製品の後発品導入による市場シェアと価格の低下、医師および患者がこれらの製品に他社製品を上回るメリットを見いだせず、このためギリアド製品の処方躊躇するリスク、ならびにギリアドが米国の証券取引委員会（SEC）に提出する報告書で随時指摘するその他のリスク。さらに、ギリアドは資産、負債、収益および支出の報告金額および関連する開示内容に影響する試算や判断を行います。ギリアドは、実績ならびに他のソースから容易に明確化できない資産や負債の繰越価格について判断するベースとなる状況や結果において合理的と考える市場独自のさまざまな条件やその他関連の条件に基づいてこの試算を行っています。ギリアドが現在把握しておらず、将来予想に関する記述に示した次項に影響を及ぼすおそれのある事項が存在する可能性があり、そのような事項により実際の結果がこうした試算と著しく異なる場合があります。また、2020年6月30日を決算日とする四半期の結果は、必ずしも将来の業績を示すものではありません。これらまたはその他のリスク、不確実性、要因の

詳細については、SEC に提出している年次報告書 (Form10-K)、四半期報告書 (Form 10-Q)、および臨時報告書 (Form 8-K) 等の定期報告書で説明しています。将来予想に関する記述については、1995 年の私募証券訴訟改革法のセーフハーバー条項の遵守を主張します。

将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在、あるいは記述に明記した日付における予想です。

###

ギリアドは、以下を含め、その事業に使用する各種商標、著作権および商号を所有し、権利を有しています。 GILEAD®、GILEAD SCIENCES®、AMBISOME®、ATRIPLA®、BIKTARVY®、CAYSTON®、COMPLERA®、DESCOVY®、DESCOVY FOR PREP®、EMTRIVA®、EPCLUSA®、EVIPLERA®、GENVOYA®、HARVONI®、HEPSERA®、JYSELECA®、LETAIRIS®、ODEFSEY®、RANEXA®、SOVALDI®、STRIBILD®、TECARTUS™、TRUVADA®、TRUVADA FOR PREP®、TYBOST®、VEKLURY® (remdesivir)、VEMLIDY®、VIREAD®、VOSEVI®、YESCARTA®およびZYDELIG®。

本文書では、他社の商標や商号の記載も含まれています。

ギリアドに関する詳しい情報は www.gilead.com をご覧いただくか、ギリアド広報部 1-800-GILEAD-5 (1-800-445-3235) までお問い合わせください。

ギリアド・サイエンシズ
要約締結損益計算書
(未監査)
(1株あたり利益を除き、単位100万)

	3カ月決算日 6月30日		6カ月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
収入				
製品売上	\$5,067	\$5,607	\$ 10,534	\$ 10,807
ロイヤルティ、契約収などの収入	76	78	157	159
総収入	5,143	5,685	10,691	10,966
原価・費用				
売上原価	1,064	1,000	2,033	1,957
研究開発費	1,299	995	2,303	1,926
取得した仕掛研究開発費	4,524	165	4,621	291
販売費/一般管理費	1,239	1,095	2,315	2,125
原価・費用合計	8,126	3,255	11,272	6,299
営業利益（損益）	(2,983)	2,430	(581)	4,667
支払利息	(240)	(248)	(481)	(502)
その他収入（支出）（純額）	250	228	92	595
税金等調整前利益	(2,973)	2,410	(970)	4,760
法人税等充当金	373	535	838	917
純利益（損失）	(3,346)	1,875	(1,808)	3,843
非支配持分に帰属する純損益	(7)	(5)	(20)	(12)
ギリアドに帰属する純利益（損失）	\$ (3,339)	\$ 1,880	\$ (1,788)	\$ 3,855
ギリアドの普通株主に帰属する基本的1株あたり純利益（損失）	\$(2.66)	\$ 1.48	\$(1.42)	\$ 3.03
基本的1株あたり利益の算定に用いられた株式数	1,255	1,270	1,258	1,273
ギリアドの普通株主に帰属する基本的1株あたり純利益（損失）	\$(2.66)	\$ 1.47	\$(1.42)	\$ 3.01
希薄化後1株あたり利益の算定に用いられた株式数	1,255	1,277	1,258	1,280
1株当たり配当額	\$0.68	\$0.63	\$1.36	\$1.26

ギリアド・サイエンシズ
GAAP ベースと非GAAPベースの財務情報の調整⁽²⁾
(未監査)
(パーセンテージ及びあたりの金額を除き、単位100万)

	3か月決算日 6月30日		6か月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
売上原価の調整				
GAAP ベースの売上原価	\$1,064	\$1,000	\$2,033	\$1,957
買収関連の取得無形資産の減価償却	(266)	(273)	(532)	(556)
非GAAPベースの売上原価	\$798	\$727	\$1,501	\$1,401
製品粗利益率の調整	79.0%	82.2 %	80.7 %	81.9 %
買収関連の取得無形資産の減価償却	5.2 %	4.9 %	5.1 %	5.1 %
非GAAPベースの製品粗利益 ⁽⁷⁾	84.3 %	87.0 %	85.8 %	87.0 %
研究開発費の調整				
GAAPベースの研究開発費	\$1,299	\$995	\$2,303	\$1,926
その他の買収関連費用 ⁽⁴⁾	(113)	—	(113)	—
その他 ⁽⁵⁾	—	1	—	2
非GAAPベースの研究開発費	\$1,186	\$996	\$2,190	\$1,928
取得した仕掛研究開発費の調整⁽¹⁾				
GAAPベースの取得した仕掛研究開発費	\$4,524	\$165	\$4,621	\$291
取得した仕掛研究開発費	(4,524)	(165)	(4,621)	(291)
非GAAPベースの取得した仕掛研究開発費	\$—	\$—	\$—	\$—
販売費/一般管理費の調整				
GAAPベースの販売費/一般管理費	\$1,239	\$1,095	\$2,315	\$2,125
その他の買収関連費用 ⁽⁴⁾	(77)	—	(77)	—
その他 ⁽⁵⁾	2	1	2	1
非GAAPベースの販売/一般管理費	\$1,164	\$1,096	\$2,240	\$2,126
営業利益率の調整				
GAAP ベースの営業利益	(58.0)%	42.7%	(5.4)%	42.6%
取得した仕掛研究開発費 ⁽¹⁾	88.0%	2.9%	43.2%	2.7%
買収関連の取得無形資産の減価償却	5.2%	4.8%	5.0%	5.1%
その他の買収関連費用 ⁽⁴⁾	3.7%	—%	1.8%	—%
非GAAPベースの営業利益 ⁽⁷⁾	38.8%	50.4%	44.5%	50.3%
その他収入（支出）純額:				
GAAPベースのその他収入（支出）（純額）	\$250	\$228	\$92	\$595
持分証券の減損（収益）（純額）	(201)	(57)	82	(254)
非GAAPベースのその他の収入（支出）純額	\$49	\$171	\$174	\$341
実効税率の調整:				
GAAPベースの実効税率	(12.5) %	22.2 %	(86.4) %	19.3 %
上記の非 GAAP ベース調整額の税効果	35.3 %	(0.7) %	107.4 %	(0.1) %
非GAAPベースの実効税率 ⁽⁷⁾	22.8 %	21.5 %	21.0 %	19.2%

ギリアド・サイエンシズ
GAAP ベースと非GAAP ベースの財務情報の調整⁽²⁾ (続き)
(未監査)
(パーセンテージ及び1株あたりの金額を除き、単位100万)

	3か月決算日 6月30日		6か月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
ギリアドに帰属する純利益の調整				
GAAPベースのギリアドに帰属する純利益 (損失)	\$(3,339)	\$1,880	\$(1,788)	\$3,855
取得した仕掛研究開発費 ⁽¹⁾	4,514	128	4,589	226
買収関連の取得無形資産の減価償却	224	252	448	512
その他の買収関連費用 ⁽⁴⁾	148	—	148	—
持分証券の減損 (収益) (純額)	(149)	(63)	107	(254)
個別の課税額 ⁽³⁾	4	—	37	—
その他 ⁽⁵⁾	(2)	(1)	(2)	(2)
非GAAPベースのギリアドに帰属する純利益	\$1,400	\$2,196	\$3,539	\$4,337
希薄化後1株あたり利益の調整				
GAAPベースの希薄化後1株あたり利益 (損失) ⁽⁶⁾	\$(2.66)	\$1.47	\$(1.42)	\$3.01
取得した仕掛研究開発費 ⁽¹⁾	3.58	0.10	3.62	0.18
買収関連の取得無形資産の減価償却	0.18	0.20	0.35	0.40
その他の買収関連費用 ⁽⁴⁾	0.12	—	0.12	—
持分証券の減損 (収益) (純額)	(0.12)	(0.05)	0.08	(0.20)
個別の課税額 ⁽³⁾	—	—	0.03	—
非GAAPベースの希薄化後7株あたり利益 ⁽⁶⁾⁽⁷⁾	<u>\$1.11</u>	<u>\$1.72</u>	<u>\$2.80</u>	<u>\$3.39</u>
非GAAPベースの調整額のサマリー				
売上原価の調整額	\$266	\$273	\$532	\$556
研究開発費の調整額	113	(1)	113	(2)
取得した仕掛研究開発費 ⁽¹⁾	4,524	165	4,621	291
販売費/一般管理費の調整額	75	(1)	75	(1)
その他収入 (支出) (純額調整)	(201)	(57)	82	(254)
非GAAPベースの税引前調整額合計	4,777	379	5,423	590
税効果	(42)	(63)	(133)	(108)
個別の課税額 ⁽³⁾	4	—	37	—
非GAAPベースの税引後調整額合計	\$4,739	\$316	\$5,327	\$482

(1) 2020年第2四半期以降、取得した仕掛研究開発費は、ギリアドの要約連結損益計算書では研究開発費とは別項目として報告し、追加情報を提供しています。本変更に伴い、前期について再算定しています。取得した仕掛研究開発費は、企業結合以外の取引により直接取得した仕掛研究開発の減損および外部で進んでいた仕掛研究開発プロジェクトの初期費用を反映するもので、将来他の目的に使用できない資産であり、各種の協働に関連する前金支払額や仕掛研究開発プロジェクトに関する権利に係る初期費用を含みます。取得した仕掛研究開発費は、ギリアドの非GAAPベースの財務情報から削除しています。

(2) 2020年第1四半期以降、ギリアドの決算報告では株式報酬費用を非GAAPベースの財務情報から除外せず、含めて計上しています。本変更に伴い、前期の非GAAPベースの財務情報に株式報酬費用が含まれるよう再算定しています。

(3) 2019年第4四半期の繰延税金資産の取崩しを反映した金額です。海外の子会社からアイルランドおよび米国に移管された無形資産の減価償却による取り崩しです。

(4) ギリアドのフォーティ・セブンの買収に伴う従業員関連経費およびその他の経費を含みます。

(5) 再編、条件付対価に関連する金額および/またはその他個別の僅少な金額。

(6) 2020年6月30日を決算日とする3か月間および6か月間におけるGAAPベースの希薄化後1株当たり損失の算出に用いた株式数には、希薄化効果を有する潜在株式（それぞれ3,800万株および3,700万株）を含みません。2020年6月30日を決算日とする3か月間および6か月間における非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益の算出に用

いた株式数には、希薄化効果を有する潜在株式（それぞれ700万株および800万株）を含みません。

(7) 四捨五入により、合計が係数の総和と一致しない場合があります。

ギリアド・サイエンシズ
 GAAPベースと非GAAPベースの2020年通期のガイダンスの調整⁽¹⁾⁽²⁾
 (未監査)
 (パーセンテージ及びあたりの金額を除き、単位100万)

	初回提示	更新
	2020年2月4日	2020年6月30日
GAAPと非GAAPベースの製品の予想粗利益の調整		
GAAPベースの製品の予想粗利益	81% - 82%	81% - 82%
買収関連費用	5%	5%
非GAAPベースの製品の予想粗利益	86% - 87%	86% - 87%
予想営業利益のGAAPベースから非GAAPベースへの調整		
GAAPベースの予想営業利益	\$8,980 - \$9,680	\$3,700 - \$6,000
買収関連および取得した仕掛研究開発費	1,120	7,000
非GAAPベースの予想営業利益	\$10,100 - \$10,800	\$10,700 - \$13,000
予想実効税率のGAAPベースから非GAAPベースへの調整		
GAAPベースの予想実効税率	~ 23%	~ 50%
繰延税金資産の償却と上記の調整による税率の影響	(2)%	(29)%
非GAAPベースの予想実効税率	~ 21%	~ 21%
希薄化1株当たり利益の予想値のGAAPベースから非GAAPベースへの調整		
GAAPベースの希薄化EPSの予測値	\$5.15 - \$5.55	\$0.83 - \$2.23
買収関連、取得した仕掛研究開発費、繰延税金資産の償却、持分証券の歴史的公正価格調整	0.90	5.42
非GAAPベースの希薄化後EPSの予測値	\$6.05 - \$6.45	\$6.25 - \$7.65

(1) 2020年以降、ギリアドの決算報告では株式報酬費用を非GAAPベースの財務情報から除外せず、含めて計上しています。比較のために記載すると、株式型報酬費用を除外しなかった場合、2019年通期の非GAAPベースの営業利益と非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益はそれぞれ104億ドルと6.13ドルになります。

(2) 将来発生する可能性のある買収関連費、取得した仕掛研究開発費（本報告書に示した2020年第3四半期に完了が見込まれる取引以外）およびその他の経費、持分証券の公正価格調整、税関連法およびガイドラインの変更に伴う個別の課税額や優遇措置は予測不能であるため含まれていません。

ギリアド・サイエンシズ
要約連結貸借対照表
(未監査)
(単位100万)

	6月30日 2020	12月31日 2019
資産		
現金、現金等価物および市場性のある有価証券	\$21,190	\$25,840
売掛金（純額）	3,194	3,582
棚卸資産	1,967	2,067
有形固定資産（純額）	4,653	4,502
無形資産（純額）	13,225	13,786
のれん	4,117	4,117
その他資産	7,588	7,733
総資産	\$55,934	\$61,627
負債および株主資本合計		
流動負債	\$10,564	\$9,759
長期負債	27,228	29,218
株主資本 ⁽¹⁾	18,142	22,650
負債および株主資本合計	\$55,934	\$61,627

⁽¹⁾2020年6月30日現在、発行済社外流通普通株式数は1,254百万株。

ギリアド・サイエンシズ製品売上のサマリー
(未監査)
(単位100万)

	3か月決算日 6月30日		6か月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
Atripla (米国)	\$95	\$122	\$176	\$255
Atripla (欧州)	5	26	12	42
Atripla (その他)	3	4	10	26
	103	152	198	323
Biktarvy (米国)	1,350	1,023	2,762	1,762
Biktarvy (欧州)	153	73	334	121
Biktarvy (その他)	101	20	201	26
	1,604	1,116	3,297	1,909
Complera / Eviplera (米国)	27	42	51	86
Complera / Eviplera (欧州)	42	72	89	134
Complera / Eviplera (その他)	3	9	8	18
	72	123	148	238
Descovy (米国)	337	246	700	479
Descovy (欧州)	46	69	107	137
Descovy (その他)	34	43	68	84
	417	358	875	700
Genvoya (米国)	646	733	1,258	1,461
Genvoya (欧州)	109	177	260	370
Genvoya (その他)	61	70	122	164
	816	980	1,640	1,995
Odefsey (米国)	273	266	542	548
Odefsey (欧州)	98	111	225	217
Odefsey (その他)	11	10	24	19
	382	387	791	784
Stribild (米国)	39	78	73	145
Stribild (欧州)	12	24	29	42
Stribild (その他)	8	6	10	17
	59	108	112	204
Truvada (米国)	370	657	753	1,208
Truvada (欧州)	6	41	14	74
Truvada (その他)	11	20	26	42
	387	718	793	1,324
その他の抗HIV薬 ⁽¹⁾ (米国)	11	9	14	20
その他の抗HIV薬 ⁽¹⁾ (欧州)	1	1	3	2
その他の抗HIV薬 ⁽¹⁾ (その他)	16	5	19	10
	28	15	36	32
分配収益 - Symtuza ⁽²⁾ (米国)	90	55	162	97
分配収益 - Symtuza ⁽²⁾ (欧州)	40	29	78	53
分配収益 - Symtuza ⁽²⁾ (その他)	2	—	4	—
	132	84	244	150
抗HIV薬合計 (米国)	3,238	3,231	6,491	6,061
抗HIV薬合計 (欧州)	512	623	1,151	1,192
抗HIV薬合計 (その他)	250	187	492	406
	4,000	4,041	8,134	7,659
AmBisome (米国)	10	10	28	18
AmBisome (欧州)	49	60	108	117
AmBisome (その他)	36	35	78	63
	95	105	214	198

ギリアド・サイエンシズ製品売上のサマリー (続き)
(未監査)
(単位100万)

	3か月決算日 6月30日		6か月決算日 6月30日	
	2020	2019	2020	2019
Ledipasvir/Sofosbuvir ⁽³⁾ (米国)	\$24	\$86	\$77	\$203
Ledipasvir/Sofosbuvir ⁽³⁾ (欧州)	4	22	15	49
Ledipasvir/Sofosbuvir ⁽³⁾ (その他)	39	85	87	166
	67	193	179	418
Letairis (米国)				
	80	204	163	401
Ranexa (米国)	1	19	9	174
Sofosbuvir/Velpatasvir ⁽⁴⁾ (米国)	165	219	476	449
Sofosbuvir/Velpatasvir ⁽⁴⁾ (欧州)	57	156	179	310
Sofosbuvir/Velpatasvir ⁽⁴⁾ (その他)	113	118	244	225
	335	493	899	984
Vemlidy (米国)	76	71	149	136
Vemlidy (欧州)	7	5	14	9
Vemlidy (その他)	68	40	124	72
	151	116	287	217
Viread (米国)	3	9	7	21
Viread (欧州)	8	28	19	42
Viread (その他)	54	38	79	84
	65	75	105	147
Vosevi (米国)	27	53	60	98
Vosevi (欧州)	6	15	17	31
Vosevi (その他)	6	7	10	9
	39	75	87	138
Yescarta (米国)	95	99	198	189
Yescarta (欧州)	56	21	93	27
Yescarta (その他)	5	—	5	—
	156	120	296	216
Zydelig (米国)	8	12	16	23
Zydelig (欧州)	9	14	21	29
Zydelig (その他)	1	—	1	1
	18	26	38	53
その他 ⁽⁵⁾ (米国)	43	41	85	77
その他 ⁽⁵⁾ (欧州)	16	97	34	117
その他 ⁽⁵⁾ (その他)	1	2	4	8
	60	140	123	202
製品売上合計 (米国)	3,770	4,054	7,759	7,850
製品売上合計 (欧州)	724	1,041	1,651	1,923
製品売上合計 (その他)	573	512	1,124	1,034
	\$5,067	\$5,607	\$10,534	\$10,807

(1) EmtrivaとTybostを含みます。

(2) Janssen Sciences Ireland UCが商業化したSymtuza (darunavir/C/FTC/TAF)配合剤中のcobicistat (C)、エムトリシタピン (FTC) およびテノホビルアラフェナミド (TAF) によるギリアドの収益を示します。

- (3) Harvoni およびギリアドの子会社である Asegu Therapeutics LLC により販売された Harvoni のオーソライズド・ジェネリックの売上を含みます。
- (4) Epclusa およびギリアドの子会社である Asegu Therapeutics LLC により販売された Epclusa のオーソライズド・ジェネリックの売上を含みます。
- (5) Cayston、HepseraおよびSovaldiを含みます。